

病棟用電動ベッド 一式

仕 様 書

令和8年6月

国立大学法人 浜松医科大学

1. 調達背景及び目的

入院患者にとってベッドは療養生活の基本となるものであり、安全・安楽で快適な入院生活を提供できるものでなくてはならない。浜松医科大学医学部附属病院では、快適療養環境を満たすためのベッドの整備を行ってきている。患者がベッドから転落した場合、骨折などおこしやすく危険であること、療養環境を整えるために座位保持が安定する低床ベッドが必要である。また、医療者の作業の効率化・患者の利便性を図るためには、多様な機能を搭載した電動ベッドが必要である。毎年行われているベッドの点検結果では約 6 割のベッドに故障や破損が認められており、そのうち 2010 年度購入ベッドに危険度が高い故障があり修理している。ベッドの耐久年数は 8～10 年であり、患者の安全を保障するためにも更新が必要である。

2. 調達物品名及び構成内訳

病棟用電動ベッド 一式

(構成内訳)

1. 成人用低床電動ベッド

- | | |
|----------------|------|
| 1 電動ベッド | 26 台 |
| 2 開閉式ベッドサイドレール | 26 本 |

その他、搬入・据付・調整等含む。

3. 技術的要件の概要

- (1) 本調達物品等に係わる性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は、別紙に示すとおりである。
- (2) 技術的要件は、すべて必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は、本学が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。

4. その他

- (1) 入札機器のうち医薬品医療機器等法に基づく製造承認が必要な医療機器に関しては、入札時点で医薬品医療機器等法に定められている製造の承認を得ている物品であること。
- (2) 入札機器のうち上記（１）以外に関しては、入札時点で製品化されていることを原則とする。ただし、入札時点で製品化されていない物品で応札する場合は、技術的要件を満たすことが可能な旨の説明書、開発計画書、納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料及び確約書等を提出すること。

- (3) 提案に際しては、提案システムが本仕様書の要求要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するかを要求要件ごとに具体的かつわかり易く記載すること。
従って、審査するに当たって提案の根拠が不明確、説明が不十分で技術審査に重大な支障があると調達側が判断した場合は、要求要件を満たしていないものとみなす。
- (4) 提案書の記載内容等について、ヒアリングを行うことがある。
- (5) 提出資料等に関する照会先を明記すること。

I. 調達物品に備えるべき技術的要件

1. 電動ベットは以下の要件を満たすこと。

- 1-1 外寸法は、全長 215 cm 以下、幅 96 cm 以下であり、高さは最低床高 25 cm 以下から最高床高 60 cm 以上まで調節可能であること。
- 1-2 背・膝の角度、高さの調節が単独で操作でき、手元スイッチ操作によりそれぞれ独立したアクチュエータで作動すること。
- 1-3 使用者の感電を防ぐため、分割された各鋼板ボトムを等電位接地し、電源ケーブルは保護接地端子（アース端子）を含む 3P プラグとすること。
- 1-4 緊急時には、ピンを取外すことにより背ボトムを下げるができること。
- 1-5 背上げと膝上げ・膝下げの連動は、ギャッチ動作時における体のずれ、腹部圧迫を軽減するために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に監視（測定）し、制御することであらかじめ設定したパターンにて作動すること。また、膝ボトムが背上げ後の端座位への移行の妨げとならないよう、背ボトム角度が 75° に達した時に、膝ボトム角度は 0° となるよう制御されること。
- 1-6 背下げと膝上げ・膝下げの連動は、ギャッジ動作時における体のずれを軽減し、さらに所定の位置へ体を戻すために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に監視（測定）し、制御することであらかじめ設定したパターンにて作動すること。なお、前項の背上げの連動と異なったパターンで作動すること。
- 1-7 背上げと膝上げ・膝下げ、傾斜動作の連動は、ギャッジ動作時における体のずれ、腹部圧迫を軽減し、上体が動かしやすく、視野を広げるために、背ボトム、膝ボトム、メインフレームの角度を常に監視（測定）し、制御することであらかじめ設定したパターンにて作動すること。また、体のずれ、腹部圧迫を軽減するために、一定の角度まで背・膝ボトム角度が上がった後に傾斜動作を行うこと。傾斜時は、体のずれ落ちを防ぐために、膝ボトム角度は地面に対して 0° 以上となるよう制御されること。
- 1-8 背下げと膝上げ・膝下げ、傾斜戻し動作の連動は、ギャッチ動作時における体のずれを軽減し、更に所定の位置へ体を戻すために、背ボトム、膝ボトム、メインフレームの角度を常に監視（測定）し、制御することであらかじめ設定したパターンにて作動すること。なお、(1-7) 項の背上げの連動と異なったパターンで作動すること。傾斜時は、体のずれ落ちを防ぐために、膝ボトム角度は地面に対して 0° 以上となるよう制御されること。
- 1-9 業務効率化の為、(1-5) (1-6) (1-7) (1-8) 項の連動は、1 ボタンで操作できること。
- 1-10 ボトムは 3 分割の鋼板ボトムと 1 分割の樹脂ボトムで構成されていること。
- 1-11 背ボトムと膝ボトムの連結部にはギャッチ動作時における体のずれ・腹部圧迫の軽減を図るため短冊状に構成された屈曲ボトムにより緩やかな曲線を構成し、

かつ伸びる機構を有すること。

1-12 ナースコール中継ユニットをナースコールへ接続することで離床通知・端座位通知・起床通知および見守り通知を行うことができること。

2. 開閉式ベッドサイドレールは以下の要件を満たすこと。

2-1 全高50～55cm全長110～115cm以内であり、上記1の電動ベッドへ着脱可能であること。

2-2 開閉角度は0°、60°、90°、120°を含む4段階以上に調節可能であり、調節後は固定可能であること。

2-3 開閉機能は誤作動を予防するための構造を有していること。

II. 性能、機能以外に関する要件

1. 搬入、据付、調整等の項目として以下の要件を満たすこと。

1-1 搬入、据付、調整に伴う必要な作業等を行うこと。

1-2 搬入、据付、調整については、診療業務に支障をきたさないよう本学職員と協議の上、その指示に従うこと。

1-3 本学が用意した1次側設備以外に必要な電源、空調等があれば、供給者において用意すること。

2. 保守体制等の項目として以下の要件を満たすこと。

2-1 本装置が正常に動作するように納入後1年間は、無償で定期的に点検、調整を行い、円滑な業務と障害防止を図ること。

2-2 故障時の体制として、遅滞なく対応ができる体制であること。

3. その他の項目として以下の要件を満たすこと。

3-1 日本語の操作マニュアルを備えること。

3-2 取扱説明などに関する教育訓練は、本学が指定する日時、場所において随時対応すること。